

令和6年能登半島地震 災害支援ナース活動報告

福井県立病院 入羽美緒

活動期間は1月21～24日、活動場所は県立輪島高校の避難所と福祉避難所、活動メンバーは和歌山県、滋賀県、福井県の8名であった。避難者数は150名程度、周期的に各種感染症が蔓延する中、福井県支援ナースは要配慮者が入所する感染隔離部屋と福祉避難所を担当した。感染隔離部屋の室内ゴミや生活エリアの汚染、空気環境、転倒が頻発するベッドレイアウトには多くの問題点があり、要観察避難者の管理に多くの課題があった。

感染隔離部屋と福祉避難所では、健康観察や療養上の世話、急変時の対応だけでなく、室内レイアウトや床材の交換、清掃などの環境整備に尽力し、選択食種の工夫や口腔ケア、体操実施などのDVT・フレイル予防も行った。福祉避難所入所者に対しては、退所後の調整のための情報用紙を作成し、基礎疾患や主要服薬状況、介護状況、家族背景などについても情報共有できるように記録を行った。災害亜急性期という時期的特性を踏まえ、物資や環境に合わせて避難所レベルにしていく難しさや、避難者の基礎疾患管理の難しさを感じつつ、避難所においても看護の基本要素が重要であることを認識し、日ごろの看護が生きる場面が多くあった。また、避難者の悲痛というよりは苛立ちに近い気持ちに触れ、この量と質の支援がいつまでも続くものではないことも考えなければならず、胸が痛い状況であった。災害支援と受援には、相互理解と継続可能な協力体制を構築することが重要であり、この活動を引き継ぐことの重みを感じながら、4日間の活動を終了した。





東山高校 福祉避難所 フェイスシート
 氏名 _____ 性別 _____ 年齢 _____ 入所日 _____
 家族構成や希望 _____
 持ち物 _____
 アレルギー _____
 持病や症状 _____
 家族状況 _____
 備考 _____
 番号 _____